

【面接官の印象】

1. 外国人面接官の印象

30代後半から40代位の白人男性で、話し方から北米の方のような印象を受けました。セーターにチノパン（ジーンズだったかも？）のようなカジュアルな服装でした。2次試験中、机に肘をつかれる姿にちょっとびっくりしました。

2. 通訳ガイド

スーツ姿の落ち着いた雰囲気、40代後半から50代位の女性でした。試験会場の教室には英語で呼ばれました。着席後、名前、生年月日、どこに住んでいるかを聞かれました。

3. 通訳試験について

《出題された日本文》

テーマは、おせち料理。

内容は、「おめでたい」、「れんこん」、「黒豆」、「数の子（→子孫繁栄）」。

《自分の解答》

緊張のため、出題された日本文も自分の答えも断片的にしか覚えていません。

「れんこん→明るい未来が見える、黒豆→健康、数の子→繁栄」というようなことを言ったような気がします。

4. 2分間プレゼンテーションについて

《出題されたトピック》

- ① 千円札の人物
- ② 地下足袋
- ③ 道の駅

《選択したトピック》

『 道の駅 』

《発表した内容》

- ・道の駅は、道端にあってその地域の新鮮な果物や野菜、海の近くであれば、新鮮な海産物を買うことができる。
- ・温泉があって、温泉を楽しめる。
- ・遊園地があって、子どもを遊ばせることができる。
- ・実際に、自分もドライブの際に寄って買い物をした。

上記のようなことを言ったような気がします。（温泉と遊園地については、質疑応答の際に答えた内容だったかもしれません。）

5. 質疑応答について

NS	道の駅はどこにあるか？
I	道端にある。地方とか。
NS	東京にあるか？
I	2 3 区内には無いと思うが、八王子や青梅にはあると思う。
NS	日本は公共交通機関が充実しているが、車に乗る必要があるか？
I	公共交通機関の無いような温泉に行くとき…。 (→秘湯に行く、とかそのようなことを言いたかった)
NS	クリスマスから年始にはどこに行くのがお勧めか？
I	箱根は。
NS	箱根ではなくて… (箱根は聞き飽きたかの様子だった)。
I	富士山の近くはどうか。
NS	例えば。
I	河口湖とか…冬は富士山のくっきりとした姿を見られる…。 上記のようなやり取りをしたような気がします。

6. 試験を終えての感想

とにかく緊張しました。

通訳については、「おせち料理」という真新しいテーマではなかったのに、満足に答えることができませんでした。

プレゼンのトピックは、3 つどれもが意表をつかれたように感じました。「千円札の人物」については、現在使用されている千円札の人物に確信が持てず、また、「地下足袋」については、最近ファッションアイテムとして注目されていることをテレビで見たことがある程度で、2 分も話せないと判断しました。「道の駅」については、実際に寄ったことがあるので選びました。が、「道の駅」が国土交通省と関係があることや、24 時間利用可能なトイレや休憩スペースを有していることなどの知識が全く無く、試験では上述のようなありきたりな

ことを述べるのみとなってしまいました。

1次および2次の両方の試験を通して、幅広い知識が要求されているように感じています。今後の課題は、幅広い知識を身につけると同時に、緊張せずに落ち着いて滑らかに口から英語が出るようにすること、とつくづく感じています。